

▼外国の先生方と自己紹介をし合う子どもたち



世界のクリスマス
～イングリッシュキャンプ～

12月23日、役場秦荘庁舎で、イングリッシュキャンプのイベントが行われました。

今回は、「世界のクリスマス」をテーマに、小学4年生から中学2年生までの子どもたちが、外国人の先生方と英語でコミュニケーションを取りながら、様々な国のクリスマス文化を体験しました。

子どもたちは「もっと英語で会話をしたくなった」「外国の先生と話せる貴重な経験ができた」「色々な国を周ったことが心に残った。全部違って楽しかった」と話していました。

▼野球教室の準備を手伝う子どもたち



こどもたちの未来へ、
夢の架け橋プロジェクト

12月28日、大津市皇子山総合運動公園野球場で滋賀県出身の現役プロ野球選手、元プロ野球選手による「第5回こどもたちの未来へ、夢の架け橋プロジェクト」が開催されました。

このイベントにおいて、秦荘中学校と愛知中学校の野球部員が、ボランティアスタッフとして、野球教室に参加する小学生の受付や準備、ボール渡しやボール拾い、抽選会の運営などを行いました。

子どもたちは、イベント運営の体験を通して、仕事の大変さを感じるとともに、間近で見た現役プロ野球選手の体やパワーを見て、驚きと同時に刺激を受けていました。

▼創作部が作成した交通安全啓発看板



秦荘中学校 交通安全啓発看板

12月25日、秦荘中学校の創作部が交通安全啓発看板を2枚作成し、交通事故がおこりやすい交差点（安孫子交差点）に、それぞれ設置しました。

この活動は、町内の交通事故が起こりやすい交差点について、生徒自らが何かできないかと考え、創作部の部員が作成したものです。

道路では、周りに注意し、相手の立場について思いやり、ゆずり合いの気持ちが大切です。

交通事故で誰も悲しむことが無い社会は、ドライバー、歩行者、自転車ひとり一人の心がけで実現できます。改めて交通ルールとマナーを確認しましょう。

▼グローブを手に笑顔の児童(秦荘東小学校)



大谷選手からグローブの贈り物

大谷 翔平選手から町内の4小学校へジュニア用グローブ(右利き用2個、左利き用1個)を寄贈いただきました。

大谷選手は岩手県奥州市出身の日本人メジャーリーガーで、日本国内約20,000校の全小学校に各3つのジュニア用グローブ約60,000個を寄贈され、今回町内の小学校にも届きました。

1月9日、秦荘東小学校では、始業式でグローブのお披露目会が行われました。

大谷選手から「このグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」というメッセージも読み上げられ、子どもたちは歓喜していました。



▼愛知川東小学校創立50周年を鼓舞する横断幕



愛知川東小学校 50周年記念横断幕

1月15日、愛知川東小学校で、愛知川東小学校創立50周年記念横断幕セレモニーが行われました。

このイベントは、愛知川東小学校が2025年に創立50周年を迎えるにあたり、愛知川東小学校後援会「東輝会」から50周年記念の横断幕を授与いただき、披露するものです。

後援会「東輝会」は、愛知川東小学校を地域全体で応援するため6年前に立ち上げられ、今回、創立50周年を迎えることを、より多くの地域の方に知っていただくために横断幕を作成・設置されました。

児童たちは「毎日行くのが楽しみな学校にしたい」「挨拶がしっかりできる学校にしたい」「みんなが笑顔で幸せに過ごせる学校にしたい」「優しさあふれるより良い学校にしたい」と話してくれました。

▼寄附を贈呈いただいた古野社長(写真左)



寄附金をいただきました

1月26日、大丸エナウィン株式会社から町へ寄附金を贈呈いただきました。

大丸エナウィン株式会社は、地域のエネルギー供給を手掛けられている事業者で、今回企業版ふるさと納税として、愛荘町へ寄附をいただきました。

同社の古野社長は「愛荘町にはご縁があり、今回寄附を申し出ました。地域のために使ってください」と話され、有村町長に寄附金を手渡していただきました。

寄附金は、2025年に開催される国スポ・障スポの機運醸成のために活用させていただきます。



▼ 國領会長(写真中央)と元持さん(写真左)



滋賀県グラウンド・ゴルフ協会から車イスの贈り物

1月17日、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会から町へ2台の車イスをご寄贈いただきました。

この取組は、平成13年度に設立された「ホールインワン基金」を通じた高齢者福祉等への支援を目的としたもので、同協会からはこれまでも3回、計4台の車イスを寄贈いただいています。

愛知郡協会長の國領さんは「自身の健康や楽しみのために活動しているグラウンド・ゴルフを通じて、少しでも地域の皆様のお役に立てれば嬉しいです。」と話されました。

長年の積み上げから生まれたあたたかな贈り物は、地域の福祉活動に活用させていただきます。



▼餅つき体験をする子ども



日本の伝統文化に触れる 子ども食堂

1月28日、「一般社団法人ふれあいハウスとよくに」で、親子で楽しむ子ども食堂が行われました。

今回の子ども食堂では、子どもたちの「きねと臼で餅つき体験をしたい」という声に応え、「日本の伝統文化に触れる、食べる」をテーマに、伊勢大神楽獅子舞の見物や餅つき体験が行われ、最後に参加者全員でつくたての餅や具だくさんの味噌汁を味わいました。

参加した子どもたちは「自分たちでつくったお餅を食べられて嬉しい」「みんなでお餅を食べるのが楽しい」と嬉しそうに話していました。

